

# がん検診 受けていますか？



日本のがんによる死者数は年間38万人を超え、死亡原因の1位となっています。更に、日本人が一生のうちにがんと診断されるのは、2人に1人とも言われています。

(2020年国立研究開発法人国立がん研究センター調べ)  
しかし、医療の進歩により、早期に発見して、治療をすることによって多くが治ります。

検診は自覚症状がない時点で行われることから、がんが進行していない状態で発見することができます。一方、症状を感じて受診した場合には、がんが進行している可能性があります。定期的に検診を受け、がんを早期に発見し治療できれば、がんによる死亡を減らすことができます。

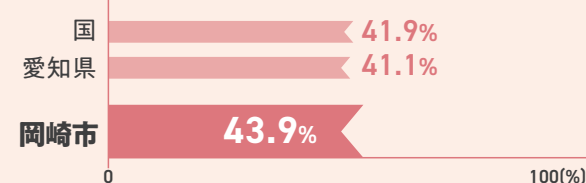
国はがんの早期発見・早期治療のため、がん検診の受診率60%以上、精密検査受診率90%以上の達成を目標にしていますが、国・愛知県・岡崎市の受診率は、目標に達していない状況となっています。

未来のために自分の健康のために、大切な人のために、がん検診を受診しましょう。

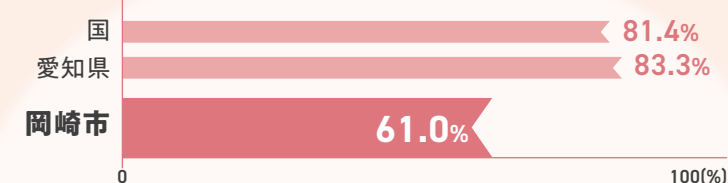
健康増進課 ☎23・6639 FAX23・5071

がん検診受診率と精密検査受診率(国・愛知県との比較)

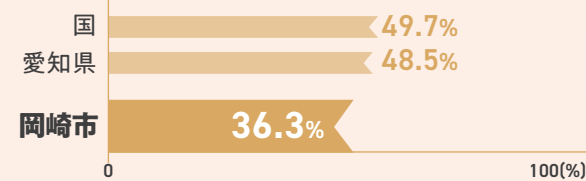
## 胃がん検診



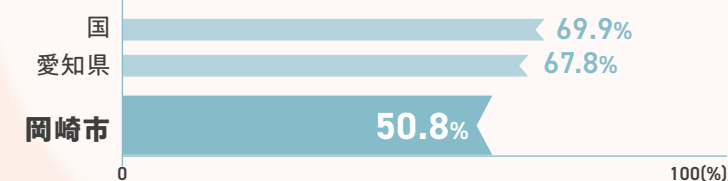
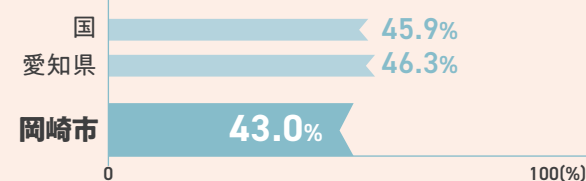
## 精密検査受診率



## 肺がん検診



## 大腸がん検診



国・県：2022国民生活基礎調査  
岡崎市：健康おがざき21計画(第3次)

国：地域保健・健康増進事業報告  
県：愛知県令和5年度がん検診の実施状況  
岡崎市：令和6年度保健所事業概要

## メッセージ

未来の自分の健康、そして家族の安心を守るために。

### 検診によって未然に防ぐ

「仕事や子育てで忙しく、がんは自分に関係ない」「検診でがんと診断されるのが怖い」「症状がないから大丈夫」——こうした声は、若い世代によく見られます。

しかし、事実として20〜30代でもがんは発症します。例えば、女性の子宮頸がんは20代後半から罹患率が上昇し、30代でピークを迎えます。一方で、早期に発見すれば5年生存率は90%以上。検診によって未然に防げる、予防可能ながんの代表です。

### 怖いのは

「見つけること」ではなく、「見逃して進行すること」

検診が怖いという不安は自然なことですが、実は怖いのは「見つけること」ではなく、「見逃して進行すること」。行動経済学では、「今の不安や面倒な気持ち」を、将来のリスクよりも大きく感じる傾向があるとされています。がん検診のお知らせは、検診を後回しにしてしまうこれらの「気持ちのクセ」の影響を少しでも減らし、受診を後押しするための大切なきっかけです。

### 体からの「サイン」を見逃さない

また、「症状がないから大丈夫」と思うのは、正常性バイアス(自分だけは大丈夫という思い込み)が働いているためです。がんの多くは初期に症状が現れません。精密検査を勧められたら、それはまだ気づいていない体からの「サイン」かもしれません。

小さな行動の積み重ねが、未来に大きな意味を持ちます。

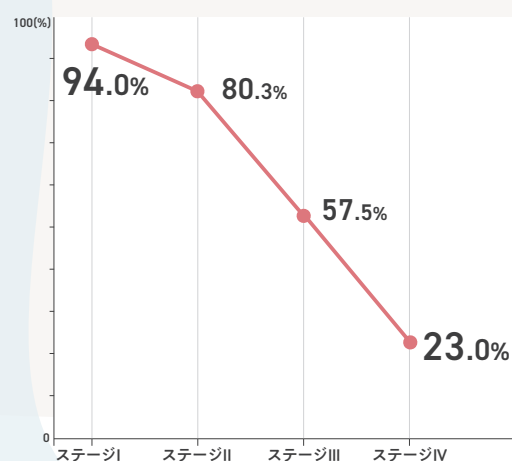
「忙しい」「怖い」「面倒」——その気持ちに共感しながら、今こそ自分の体と向き合う一歩を踏み出してみませんか？



愛知医科大学医学部 衛生学講座教授(医師)  
岡崎市生活習慣病対策会議委員

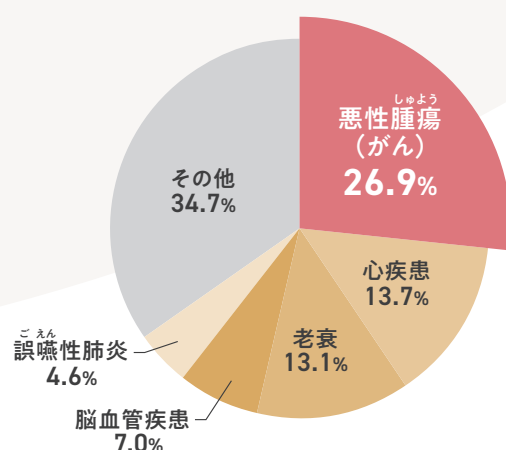
鈴木 孝太氏

がんと診断されてから5年後の生存率



出典：公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計2022」

岡崎市死因別死亡割合



岡崎市保健所 令和5年  
岡崎市人口動態統計報告書

## がん検診に行こう

職場などで受診機会のないかたは  
市のがん検診をご利用ください。

※自己負担金額に変更があります。詳しくは、  
がん検診の案内をご確認ください。



ホームページ



市のがん検診のご案内は  
**5月末**に対象者に  
郵送します。



## がん検診を受けたあとは

がん検診は受けたら終わりではありません。

**結果が届いたら必ず検査結果をご確認ください。**

検診は結果を生かすことが重要です。

検診の結果が

**異常なし**

の場合

引き続き定期的に  
検診を受けて  
ください。



### Column.

岡崎市の精密検査受診率は大腸がん検診（便潜血反応検査）が一番低くなっています。しかし、大腸がんは、臓器別のがん罹患数で第1位、死亡原因でも第2位と高いがん※です。

精密検査未受診の理由の一つとして「便潜血反応検査が陽性となったのは、痔や排便時にいきんだときの出血が原因だと思ったから」ということが考えられます。しかし、痔が原因で出血しているのか、あるいは大腸がんやポリープのために出血しているのかは精密検査をしないと分かりません。

精密検査（大腸内視鏡検査など）に抵抗があり、足が遠のきがちということもあるかと思いますが、便潜血反応検査が陽性ということは「大腸がんの可能性がある」ということです。結果を放置せず、必ず精密検査を受診するようにしてください。

※最新がん統計「国立がん研究センター がん統計」



検診の結果が

**要精密検査**

の場合

**必ず医療機関を受診してください。**

かかりつけ医があるかたは、まずはかかりつけ医を  
受診してください。

かかりつけ医がないかたは、お近くの医療機関や  
岡崎市民病院などへご相談ください。

※岡崎市民病院で検診精査のための受診をする場合は非紹介  
患者初診加算料7,700円がかからないことがあります。  
詳しくはホームページや受診予約時にご確認ください。  
他の医療機関で受診の場合は各医療機関でご確認を。



市民病院  
ホームページ

どこの医療機関に行けばよいの  
かわからないかたは「医療情報  
ネット(ナビイ)」での  
検索が便利です。



## がん検診 よくある質問



健康増進課 保健師

がんを早期に見つけるための検診。でもいざ受診するとなると、知らないことも多いのではないのでしょうか。毎年、市が行っているがん検診について聞いてみました。

Q

検診に行くと、いくらくらい  
費用がかかりますか？

市のがん検診は全額自己負担の場合と比べ約3割の費用（20～69歳）で受診できます。

例えば胃がん・肺がん・大腸がん検診を**全額自己負担で受診すると約1万円かかる**ところ、**市のがん検診では2,800円になります。**

職場などで受診機会があるかたも全額自己負担で受診する場合と比べて安く受診できる場合もあります。



Q

毎年検査しないといけませんか？

検診で発見できるがんの大きさには限界があり、見つけられる大きさになった状態から早期がんのステージに進むまではわずか1、2年とされています。

また市のがん検診は国の推奨に基づき、**がん検診を「決められた対象者」に「決められた間隔」で実施することで死亡率が減少する※**という科学的根拠を土台にしていますので、検診は確実に受診することが重要です。

※前立腺がんを除く

Q

若くて元気いっぱいですが…

若い人は「がん」と聞いても実感がないかもしれませんが、日本では毎年約100万人が新たにがん<sup>りがん</sup>に罹患しています。その約3分の1が働く世代（20～60代）です。特に女性は若くてもがんになるかたが多く、子宮頸がんは30代後半、乳がんは40代後半にピークがあります。若い世代の人ががんになると、周囲への影響も大きく、経済的な不安も出てくる可能性が高いため、早期治療ができるよう**定期的にがん検診を受診**してください。

Q

健康診断ではどこも  
悪いところはありませんが…

**健康診断とがん検診は異なるものです。**

「健診（健康診断や特定健診）」は自身の健康状態を確認し、病気を予防することを目的としているのに対し、「検診」はある特定の病気にかかっているかどうかを調べ、早期治療につなげることを目的にしています。健康維持のために「健診」と「検診」の両方を受診しましょう。



Q

痛いのは苦手ですが…

乳がん検診は乳房を圧迫して撮影をしますので、痛みを伴う場合がありますが、痛みは数十秒ほどです。乳房が張りやすい月経前を避け、月経終了後の比較的張りの少ない時期に受けることをお勧めします。



Q

家族にがんの人がいないため  
心配していません。

遺伝性のがんは全体の5%程度です。残りの95%は遺伝性のがんではありません。日本人の2人に1人は一生のうちに何らかのがんにかかる、とされているように**誰でもがんになる可能性はあります。**

国立研究開発法人国立がん研究センター東病院調べ

